

俳句

文章表現を楽しむ科



せせらぎの音に紛れぬ夕河鹿

山中 康雄

ゆきやなぎ重なるほどに白さ濃く

亀本 弘子

卯の花の匂いも抱いて煙る雨

藤本 真理子

川柳

高1保体

中野 博正

補助線をこじれた仲に引いて見る

二枚舌窮地に立てば三枚に

高6英語

有坂 美津枝

遺影写真何時役立つかとホホ笑う



短歌

N高1美術

井上 恵子

老犬を引く人もまた老人なり

穏やかなるも歩を進め行き

文章表現を楽しむ科

谷 たか子

凄惨な戦後を綴る友の手記

いま穏やかにアリラニ唄う